



「緑の探究Ⅰ」学年発表(2月9日)

2月9日(金)緑の探究Ⅰでは、探究活動の学年発表会が行われました。各クラスの代表グループは、自分たちで設定した課題について実験などで検証した結果を1学年277名に向けて発表しました。指導にあたった水産研究・教育機構、ウォータースタンド株式会社、JICA横浜、株式会社オオスミの方々も発表を参観し、課題についてさらに深く考えるためのアドバイスをいただきました。各クラス代表が発表した題目は次の通り。

A組	「横浜ウォーターうまうま☆プロジェクト」
B組	「海洋酸性化抑制のための水草実験」
C組	「水質比較による横浜市の水の改善点究明」
D組	「横浜一汚い川を生まれ変わらせるために」
E組	「マイクロプラスチックを減らすために ～洗濯と選択～」
F組	「自分が“スキ”なスキン ～スキンケアを添えて～」
G組	「海水の二酸化炭素濃度上昇と水温の関係性」



フランス・ジョンエカー高校との対面交流会(2月8日)



コロナ禍で実現できなかった対面での国際交流会が実現しました。10名のフランスの方々が来校。本校の生徒たちは、1,2年生合わせて43名が参加し、フランス文化に対する関心の高さが伺えました。前半は、スライドによる両校の学校紹介、文化紹介。後半は、グループに分かれてディスカッションタイム。フランス語、英語、日本語が入り混じり、終始笑い声と拍手がわき起こる活気ある交流会となりました。生徒の感想です。他国を知ること以外にも、自国のことをいつもより考えたり、分かりやすく説明したりする方法を工夫する機会であるのが国際交流である。私たちもフランスに行ってみたい。とっさに言葉が出てこないの、英語を話せるようにしたい！これからも、緑高生たちの海外への探究への旅はこれからもつづく！！

ふくしま学宿 福島県立白河高校との交流&オンライン交流

1月16日に福島県立白河高校の「震災復興しらかわゼミ」の2年生6名が本校を訪れ、昨年の春と夏に「ふくしま学宿」に参加した10名と対話交流をしました。前半はそれぞれの学校から調べたことや学んだことのプレゼンテーションを行い、後半は「風評被害をどう考えるか」「震災から何を学び、どう生きるか」というテーマを3つの班に分かれて話し合いました。

2月15日には白河高校主催で「震災復興しらかわの関サミット」がオンラインで行われ、白河高校、北海道寿都高校、宮城県多賀城高校、滋賀県立彦根東高校、熊本県立第二高校と震災復興をめぐり議論を行いました。

